

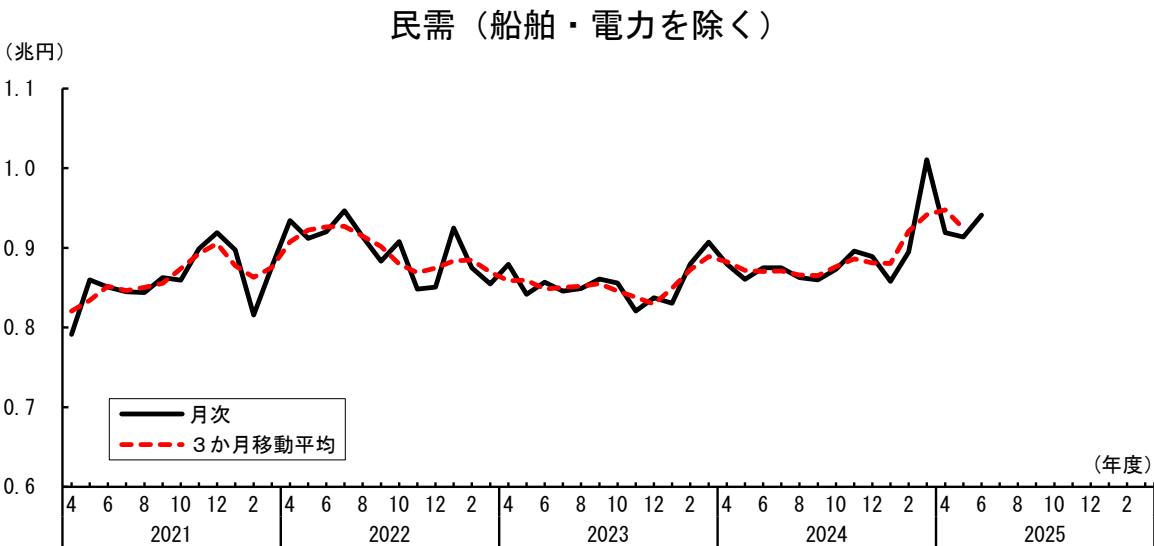
機械受注統計調査(令和7(2025)年6月実績及び令和7(2025)年7～9月見通し)
結果の概要

—機械受注は、持ち直しの動きがみられる—
(基調判断据置き)

○ 民間設備投資の先行指数である「船舶・電力を除く民需」は、6月は前月と比較して3.0%増加し、3か月ぶりの増加となった。

○ この要因として、内訳をみると、製造業が8.1%減となった一方、非製造業(船舶・電力除く)が8.8%増となったことが挙げられる。

○ こうしたことから、機械受注は、持ち直しの動きがみられる。



対 前 月（期） 比						(単位: %)			
期・月	2024年 (令和6年)		2025年 (令和7年)			2025年 (令和7年)			
需要者	7- 9月 実績	10- 12月 実績	1- 3月 実績	4- 6月 実績	7- 9月 見通し	3月 実績	4月 実績	5月 実績	6月 実績
受 注 総 額	△2.6	5.4	2.4	△5.3	3.7	△9.4	△2.3	3.8	0.3
民 需	△12.9	9.9	1.3	3.5	△5.7	△7.0	△4.0	19.8	△10.3
〃（船舶・電力を除く）	△0.7	2.3	3.9	0.4	△4.0	13.0	△9.1	△0.6	3.0
製 造 業	△5.1	9.0	△0.9	1.5	△2.0	8.0	△0.6	△1.8	△8.1
非製造業（除船・電）	2.4	△0.7	5.7	0.9	△5.8	9.6	△11.8	1.8	8.8
官 公 需	24.8	31.3	4.1	△31.2	13.4	△31.0	△12.4	25.2	△11.9
外 需	0.2	△5.3	2.5	△3.3	10.6	△13.1	6.8	△6.4	8.8
代 理 店	6.3	△2.5	2.8	9.3	4.6	6.5	△1.3	11.1	0.6
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	2.2	0.7	△2.4	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. △印は減少を示す。
3. 見通しは2025年6月末時点の調査。